

”誰でも” エッジサービスを実現できるプラットフォーム構想

目標

多種多様な要素(技術、業務、市場)とその相互接続から構成され、複雑にならざるをえないエッジサービスの企画/構築/保守の敷居を下げたい。



アプローチ

- **抽象化モデルを取り入れたカタログをサポート**
 - ・ 専門知識が無くても、サービスカタログを用いて、お好みのエッジサービスを自分で作れる
- **コンテキストベースのインタラクティブUI 提供**
 - ・ ユーザーの専門性やニーズを汲み取ったプラットフォームと対話しながら、希望通りのエッジサービスをその手にできる
- **SE / SI のノウハウ・プロセスの自動化**
 - ・ サービスの構築、保守等のライフサイクル管理を簡単にできる
- **グローバルリファレンスモデル準拠**
 - ・ 相互運用性 / 再利用性を確保し、生産性を上げられる
 - ・ Edge Service Enabling Platform
<https://wiki.akraino.org/display/AK/Edge+Service+Enabling+Platform>

